

編集後記 三号雑誌という言葉があります。勢い込んで雑誌を発行しても、後が続かず僅か3号で終わってしまうことを揶揄した言葉です。しかし、わが“ミニバラ”は、4号を超えて、今や5号を発行するまでになりました。これも皆様のご協力の賜物です。中でも、何時も編集の労をとってくださる山本まゆ子姉には感謝の外ありません。(三輪恭嗣)